

# 第4回定例 議会報告



高村功議員

# 時流に流されず正論つらぬき 共同の力で政治を変える

## 日本共産党

# 経済・外交 高市政権の矛盾 選挙で審判くだそう



高市政権が23日召集の通常国会の冒頭で、衆院解散・総選挙に踏み切る意向だと報じられています。なぜ突然、解散・選挙なのか。それは決して政権の強さを表すものではないと見ます。内閣支持率こそ高いものの、ひと皮むけば、内政も外交も行き詰りを深め、高市首相自身をめぐる違法献金をはじめとする「政治とカネ」統一協会とのゆ着などスキャンダルまみれ。とても国会審議に耐えられない、ならば支持率の高いうちに解散し、行き詰まりの反動的打開はかろうじで戦略的思惑



で解散に打って出ようとしているのが真相です。

### 内政(暮らしと経済)

いま物価高から暮らしを守るには、何といつても大幅な上げをやらなければなりません。ところが、その時に高市政権は、最低賃金15

00円の目標も投げ捨ててしまいました。昨年の参院選で国民が求めたのは消費税の減税ですが、これもやらない。その一方で、史上最高の軍事費、そして大企業には巨額な支援。その財源といえば、大量の国債発行です。これがすでに円安を招き、経済に混乱をもたらしているという事態にもなっています。これは誰にとつての「強い経済」なのか。暮らしにとつては、全く強い経済にはならないと思います。

また、労働時間規制緩和、社会保障改善などを強行しようとしています。

いま、日本の経済には大きなゆがみがあります。株価が上がりすぎ、株主の配当を増やせばいいと、「大株主資本主義」とも言えるようなゆがみが生まれていると思います。アベノミクス以降の12年間で、大企業の純利益は3.5倍、株主への配当は2.8倍です。驚くのは、株価つり上げのための自社株

買いに注ぎ込んだ資金は9倍にもなっています。だけど賃金は全く上がっていません。

このゆがみをどうやって正していくのか。税制や社会保障、国民に対する再分配で、暮らしの安心をどうつくり出していくのかという大きな方針を持った予算や経済政策が、今こそ求められている時だと考えます。

### 外交(国際問題)

外交では、自らの「台湾発言」で極度に悪化した日中関係を打開する展望が全くなく、経済界からも厳しい批判が出ています。

米国防ラン  
プ政権のベネズエラ侵略などの無  
法な「力」の支配を何一つ  
批判できず、  
日本政府が  
まがりなり



## 市議会

### 定数削減に伴う常任委員会

第4回定例会では最終日に、議提2件が可決されました。これは、議会定数が現行の18名から16名に削減されるのに伴い、常任委員会定数を8名として、現行の3常任委員会から2常任委員会とするものです。また、市議会等を長期欠席した場合における議員報酬

と期末手当支給について特例を定めるものです。

日本共産党の高村功議員は定数削減については、市民の多様な声が議会に届かなくなるとして、当初から反対し、現状維持を求めました。

### 新年度予算要望書を提出

日本共産党常陸大宮市委員会と高村功議員は12月8日(月)、市に対して「2026年度常陸大宮

市予算と施策に対する要望書を提出しました。今回は、1平和を守り、民主主義・地方自治を発展させる II 福祉・保健医療体制を拡大し、老後も子育ても安心のまちづくりをすすめる III 自然を守り、生活環境を整備し、住みよいまちづくりをすすめる IV 農林業・商工業者の経営を守り、地域経済を発展させる V 子どもたちにゆきとどいた教育条件を整備する。の5点を柱に115項目の要望を提出しました。

### 日本と中国 緊張をどうやって解決?

台湾海峡で米中が衝突したら「存立危機事態」になりうる。日本が攻撃されなくても、米国を守るために自衛隊の参戦がありうる。ことを意味する重大発言です。

日本政府は「従来と同じだ」と繰り返すだけで、この重大さを全く理解していません。

### 中国を指して「戦争あり」と宣言

「うちの問題は、中国を名指して、戦争がありうる」と言明したことです。こんな発言をした首相は、高市氏が戦後初めてです。

戦争放棄を決めた日本国憲法にまごころから反し、万が一にも戦争になったら、日本と中国双方の国民

にも掲げてきた「法の支配」という外交の看板と深刻な矛盾をきたしています。

### 正論つらぬく日本共産党

日本共産党は、このような高市政権と、この政権に迎合する勢力に正面から対決し、「憲法を真ん中にすえた確かな共同」をよびかけ、国民の共同の力で、日本国憲法を破壊する戦争への道、極右・排外主義の流れに断固立ち向かおうと力をつくし、かけがえのない役割を果たしています。

日本共産党 ホームページ スマホ対応

政治革新の道しるべ、真実つたえ希望はここ

**しんぶん赤旗**

日刊 ●月3,497円  
日曜版 ●月 990円  
※電子版もあります。

2月25日(金)開会します

請願陳情開会の週間(1月18日)まで提出ください。

**新ひたちおおみや**

2026年1月発行/日本共産党常陸大宮市委員会  
高村功 電話 0295-53-7640 Fax 51-3173

### 台湾問題は平和的に解決を

解決にあたっては、台湾住民の自由を表明された民意を尊重すべきです。

中国による武力行使も、日米による軍事介入も厳しく反対し、平和的解決を強く求めます。

一部の右翼的な潮流と日本国民全体を区別し、イベントや観光、経済関係にリンクさせないこと、事実にもとつかない言動や対立をあり立てる言動をつつしむこと。日本共産党は、首相発言の撤回とともに、中国の党に対して、冷静で合理的な対応を申し入れています。

### 日中関係正常化の合意をめぐり

1972年、「台湾は中華人民共和国の不可分の一部」とする中国に対し、日本は「十分に理解し、尊重し、ポツダム宣言第8条を堅持する」と約束し、国交を正常化しました。

この合意を踏みにじり、日中関係を土台から壊してしまった首相発言は、撤回以外にありません。

### 中国にも、理性的な対応を提議

一般質問

市議会のホームページで一般質問の録画が見られます



高村功議員  
12月11日に質問

日本共産党の高村功議員は、常陸大宮駅周辺整備事業や、自由社教科書と高校受験について4項目で一般質問を行いました。

常陸大宮駅周辺整備事業について

12月2日(火)に開会した第4回定例会は、19日(金)に閉会しました。本会議では、予算決算常任委員会に付託された令和7年度常陸大宮市一般会計補正予算など7議案、総務常任委員会に付託された8議案、文教福祉常任委員会に付託された7議案、経済建設常任委員会に付託された10議案が、委員会審査報告の後、可決されました。

**高村議員** 現在進められている常陸大宮駅周辺整備事業は、当初計画から見た時、大幅な遅れは否めません。進捗状況について伺います。

**建設部長** 整備事業は、国の補助事業である都市構造再編集中事業補助金を活用し、令和3年度から令和8年度までの6カ年第一期整備計画期間として進めているところで、

**高村議員** 本来であれば、来年度中に予定された第一期工事が終わる予定でしたが、その要因はどこにあったのでしょうか。

**建設部長** すべての事業に対し、都市構造再編集中事業補助金を活用し事業を進めていますが、要望額通り内示をいただけない状況が続いており、第一期整備計画期間内の完成を見込んでいた駅西交流拠点事業や道路整備事業など執行できない

と議案第97号常陸大宮市山方自然生態観察施設淡水魚館に設置及び管理に関する条例を廃止する条例に反対し、討論を行いました。

追加議案5件が提案され、予算決算常任委員会審査、委員会審査報告の後、可決されました。いずれも、人事院勧告による給与改定に伴うものです。また、議提第5号と第6号が可決されました。請願では、「市道1427号線と主要地方道常陸大宮御前山線を結ぶ連絡路線の整備に関する請願」(提出者 梶山登司氏、紹介議員・秋山信夫

議員)が全会一致で採択されました。



事業があります。

**高村議員** 用地補償や工事の未完了部分が多く残されていますが、当初計画でいう第一期工全体の完了時期はいつになるのか、伺います。

**建設部長** 東西駅前広場、駅西交流拠点等については引き続き、都市構造再編集中事業補助金を活用した整備を考えており、令和9年度からの第二期整備計画期間で完成を目指していきたいと考えています。また市道整備については一時休止とし、施設整備完了時に順次進めていく方針です。

**高村議員** 事業費が当初の51億円から76億円に増加しましたが、将来的にこの事業費がどのくらいまでに膨らむのか伺います。

**建設部長** 現時点では未定です。将来どの程度の事業費になるのか、物価高騰を危惧しているところで、

**高村議員** これまでの答弁では、事業について様々な課題があることが示されましたが、市長の見解と費用対効果などについて伺います。

**市長** 事業は、人口減少対策の柱となる大変重要な事業と認識しています。高台地域を中心拠点とし、機能を集約し、利便性の高い空間を整備することによって賑わいを創出し、民間投資を呼び込むなど、相乗効果を生み出していきたいと考えています。事業費につきましては、将来の投資は必要と考えています。

**高村議員** 今後の財政状況によっては、事業の見直しの余地はあるのかどうか、伺います。

**市長** 先のことはわかりませんが、

その状況をきちんと捉えながら適宜判断していきたいと考えています。

常陸大宮駅周辺整備事業は、市民の間にも意見の分かれる事業です。しかも事業費は、当初の51億円から75億円増加し、現在76億円にまで膨れ上がっています。今後、事業費がどこまで膨らむのかという質問に対し「現時点では未定」とのことです。この事業によって、バラ色の未来が描けるかどうか、甚だ疑問です。また将来的な維持管理費が市財政を圧迫するのではないか、この懸念も払しょくされません。

自由社教科書と高校受験について

**高村議員** 自由社の教科書は、県内でどこも採択していないし、全国の公立中学校でも皆無です。こうした教科書で学ぶ生徒たちへの高校受験への影響について伺います。

**教育長** 高校入試に関わる問題は、公平性を保つ観点から、県内で採用されている教科書のすべての内容を網羅して作成されており、公平であればならない入試については絶対にはありません。

**高村議員** ではなぜ、県内ではどこも採択されていないのでしょうか。先ほど、特異な歴史観、憲法観をもった教科書であり、公立中学校にはふさわしくないという知見から採用され

れていないと指摘しましたが、伺います。

**教育長** 特異な歴史観をもった教科書であるという知見から採択されていないとは、どのような根拠から導き出されるものなのか、甚だ疑問です。公の場で、不安を抱かせるようなことは、果たして本当に子どもたちを心配しているといえるのでしょうか。

**高村議員** 文科省の検定に合格しているから問題ないと、繰り返し言われてきましたが、根拠を伺います。

**教育長** 様々な観点から専門的、記述的な調査審査の結果を受けて合格したものであり、何ら問題ないと捉えています。

自由社の教科書をめぐっては、教育長の答弁との間には大きな乖離があります。しかし核心は、特異な歴史観をもった教科書であるが故に、公立中学校にはふさわしくないという知見から県内の公立中学どこでも採用されていないということ。先生方も、これからどう教えていいのか、悩むはず。



自由社の教科書

議会 傍聴記



市政くらし対策部長  
小室貞夫

明けましておめでとうございませぬ。みなさん、今年は、市議会議員の選挙が行われる大事な年です。お正月に私の住んでいる地域の新年会がありました。参加者は、少なく半数以下でした。みなさん口々に、昔は戸数も多くて、いっぱい集まっていたがやがたやがた。あと5年経ったらこの地域はどうなってしまうのかと新年早々暗い話になってしまいました。

昨年の12月議会で、高村功議員は、駅周辺整備事業を中心に一般質問を行いました。市は、この事業を人口減少対策の柱としています。大宮の高台地域に機能を集中すれば、また昔のような賑わいが取り戻せる。そうすれば、「市を離れる人も少なくなるし、欲を言えば市に移住する人も出るかもしれない」と考えているのでしょうか。

人口減少問題は、難しいと思いますが、周辺地域にも目を向けて、深刻な過疎化に対する施策も重要ではないでしょうか。

その他の一般質問項目

■加齢性難聴者への補聴器購入公的助成について  
■美和地域上檜沢の市道について